

第11回

三協アルミ
学生建築デザインコンペ

三協アルミ

まちの縁側

審査員長
敬称略

西沢 立衛

建築家・SANAA・西沢立衛建築設計事務所
横浜国立大学大学院建築都市スクールY-GSA 教授

審査員
敬称略

家成 俊勝

建築家・京都芸術大学教授・dot architects

提出期限

百田 有希

建築家・大西麻貴+百田有希 / o+h

三協アルミ役員 1名

2026年10月1日(木)

1次審査 2026年10月下旬

最終審査 2026年12月7日(月)

※最終審査会の様子は後日YouTube配信します。

最優秀賞 (1点)

副賞 30万円

優秀賞 (3点)

副賞 15万円

特別賞 (数点)

副賞 10万円

三協アルミ賞 (1点) 副賞 15万円

※三協アルミ賞は、「新しい発想の建材提案(任意)」を含む作品の中から三協アルミが選出する賞。

参加資格

日本国内の専門学校、短大、大学、大学院において建築、デザインなどを学ぶ学生の、個人またはグループ(3名まで)。国籍は問わない。

※グループで参加の場合は、全員が学生であること。
※最終審査の時点で在学中であること。

主催 三協立山株式会社 三協アルミ社

※当社コンペサイト <https://alumi.st-grp.co.jp/kenchiku/>



第11回 | 三協アルミ 学生建築デザインコンペ 作品募集要項

課題

テーマ『まちの縁側』

「縁側」と聞いて、みなさんはどんな風景を思い浮かべますか。

かつての日本建築における縁側は、単なる通路ではありませんでした。家の内と外、プライベートとパブリック、そして人と環境をゆるやかにつなぎ、日常の中に穏やかな滞留と交流をもたらす、しなやかな境界線として機能してきました。しかし、効率性やプライバシーが優先される現代の都市や建築において、内と外の境界は明確に区切られ、こうした曖昧で豊かなゆとりが失われつつあります。腰を下ろして風を感じ、人と人が自然に関わり合い、心地よい距離感で過ごせる居場所は、私たちの暮らしから遠ざかっているのではないのでしょうか。

この「縁側」の良さを今の暮らしに合わせて、新たな時代にふさわしい「まちの縁側」を考えてください。

ここで言う「縁側」とは、単に建物に付随する造形を指すものではありません。その概念を大きく広げた、新しい場所のあり方です。

たとえば、福祉施設や保育所のケアがまちへとじわじわ染み出していくような仕掛け、あるいは広大な校庭を地域へ開かれた巨大な縁側として見立てることや、駅のホームや街路そのものを都市の縁側として捉え直すこと。その場所が持つ第一機能を超えて、居場所が都市の隙間へとにじみ出し、人々の生活と交差する風景を描いてください。

提案の舞台は、住宅、学校、オフィス、商店街、福祉施設、あるいは駅やバス停など、スケールや用途に制限はありません。たとえ住宅であっても、それが「まち」に対してどう開かれ、地域とどのような新しい接点を持つことができるか。人が思わず足を止め、そこに行き来が生まれ、互いに関わり合いたくなる。そんな「まちの縁側」の新しい姿を予感させる、瑞々しく斬新なアイデアをお待ちしております。

また、「まちの縁側」にふさわしい「新しい発想の建材提案」(任意)もあわせて募集します。

※「新しい発想の建材提案」(任意)は空間提案の中で自由な発想であつたらいいと思う建材を提案してください。

当社商品を流用した提案は対象外となりますのでご注意ください。

三協アルミ学生建築デザインコンペ事務局

コンペの流れ



応募登録

本コンペに応募される方は、下記コンペサイトから登録を行ってください。必要事項を入力し送信後、e-mailで登録票と提案主旨記入用紙(400字以内)が交付されます。この登録票と提案主旨記入用紙は応募の際に必要となりますので、各人で記録・保存してください。

当社コンペサイト

<https://alumi.st-grp.co.jp/kenchiku/>



審査方法

■審査は2段階審査方式で行います。1次審査ですべての応募案の中から最終審査に進む上位作品を選出します。

【1次審査】2026年10月下旬

■1次審査の結果は、通過者に通知すると共に、エントリーサイト、当社コンペサイトにて発表します。

【最終審査+表彰式】2026年12月7日(月)

場所: ホテルニューオータニ高岡(富山県高岡市新横町)

■最終審査+表彰式にご出席いただき、5分程度の作品プレゼンテーションをお願いします。審査員との質疑応答、審査会を経て最優秀賞、優秀賞、特別賞を決定します。1次審査通過者であっても、最終審査に出席できない場合は選外となりますのでご注意ください。最終審査終了後、すべての賞の表彰式を行います。

※最終審査用資料の詳細は、1次審査後、通過者の方にすみやかにお知らせします。

※その他詳細は当社コンペサイトをご確認ください。

提出図面

下記2点の提出を必須とします。

1. 応募案(A2サイズ:タテ使い1枚)

主旨、配置図、平面図、立面図、断面図、アイソメ・パース等を1枚にまとめたものを、A2サイズ(594×420mmタテ使い)のケント紙または同等の厚紙1枚に記載し、郵送にて送付。

※表現は、鉛筆、インキング、着色、模型写真添付、手書きもしくはCADなどいずれも自由。額装・パネル化、立体(突起物や凹凸)は不可。

※材質、色、照明効果がわかるような図面、パース、模型等を作成すること。

※その他便宜コンセプト説明に必要な図面や新しい発想の建材を説明するために必要なものも含めて提案。

※使用した建材の当社商品名を図面に明記してください。

※作品を提出する際には、必ず応募登録時にe-mailにて送付された登録票と提案主旨記入用紙(400字以内)に必要事項を記入の上、作品裏面へ貼付して下記送付先へ郵送願います。持込み、バイク便は不可。

提出先 | 三協立山株式会社 三協アルミ社
「三協アルミ学生建築デザインコンペ」事務局
〒933-8610 富山県高岡市早川70

2. 「1. 応募案(A2サイズ:タテ使い1枚)」と同じ内容のJPEGファイル(データ容量:5MB以内)

提出先 | 応募フォームに従いアップロードしてください。

【1次審査通過者特典】

表彰式後、審査員及び当社役員との懇親会を行います。

表彰式翌日は「金沢21世紀美術館」を設計した西沢立衛氏と建物の見学、及び当社工場見学を予定しています。

会場までの交通費、最終審査+表彰式当日の宿泊費用等は主催者側の負担とします。なお、前泊が必要な場合は、各自負担にてお願いします。

表彰式・懇親会・受賞ツアーの様子はコチラ

